

3年ぶりに現地参集で全国大会を開催

—日本PTA全国研究大会山形大会—

期日：令和4年8月26日（金）～27日（土）

場所：山形県内10市町

スローガン

人とひとのつながりを
体感しよう！

～あがらっしやい精神の

山形から～



記念講演の講師の飯森範親氏

つながりを体感しました

県P連会長

岩館 智子

はじめに、岩手県からも多くの方が山形に足を運んで下さいましたことに、心より感謝申し上げます。

全体会の記念講演で飯森氏が「指揮者はオーケストラと来場者をつなぎ、この一瞬でしか味わえない空間を一本のタクトで表現することである」とお話しされたとおり、記念演奏会では会場がひとつとなり、まさに大会主題「人とひとのつながりを体感しよう！」そのものでした。このつながりのように、これから子どもを中心に学校・家

庭・地域をつなぐPTAを大切にしていきたいと、改めて思いました。

第6分科会の報告

県P連副会長

星野賢志郎

初日は米沢市の第6分科会に参加し情報教育の領域にて、スキー界のレジエントと呼ばれる葛西紀明さんの基調講演となりました。講演では葛西選手がどのような環境下でレジエントと呼ばれるまでになっていったのか、「金メダルを獲る！」という不屈の精神など、本物のメダルを触らせていただきながら聞くことができました。研究発表で

は、デジタル化の現状と課題について発表され、子供の情報活用能力を育む教育に学校と家庭との連携が重要であると改めて感じました。

翌日は山形市の全体会に参加し、指揮者の飯森範親さんの基調講演を聞いてきました。幼少期に親から教わった「感謝」することを今も守り

続けていることで、人と人のつながりをつくられているということを、講演を通して伝えていただきました。改めて当たり前のことなのに難しいことであると感じました。2日間通して非常に有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

特別第1分科会の報告

県P連副会長

菅原 淳

3年ぶりのリアル開催となった全国研究大会、私は5年ぶり2回目の参加となりました。当分科会は『令和の日本型学校教育』を支援するPTA活動～持続可能な社会の担い

手の育成を目指して』をテーマに開催されました。パネリストは、実践発表では、「環境が大きく変化するときに、何かを変えられる大きなチャンス」と題して滝沢市立滝沢第二中学校PTA会長の白澤仁様より貴重な経験談を全国に発信していただきました。

岩手県は50年前から教育振興運動に取り組んでいる、コミュニティスクールにおいて先進県です。これからも今までの活動に自信を持ち、時代に合わせた変化をし、学校、家庭、地域がつながり子供たちを育んでいくことを改めて意識する機会となりました。



滝沢第二中のPTA会長、白澤仁さんがパネリストを務められました